

(1) キク

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
褐斑病	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		1000倍	100～300%/10a	発病前～発病初期	散布	6回以内
	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	1		1500～2000倍	100～300%/10a	-	散布	5回以内
黒さび病	マネージ乳剤	イミペクチン剤	3		500～1000倍	0.2～0.3%/㎡	発病初期	散布	6回以内
黒斑病	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		1000倍	100～300%/10a	発病前～発病初期	散布	6回以内
さび病	エムダ イファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
白絹病	カロルビクリン	カロルビクリンくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～5mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	カロルビクリン錠剤	カロルビクリンくん蒸剤	8B	劇	1穴当り1錠			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	ドロクロール	カロルビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～6mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
白さび病	アビドール	ヘキサコナゾール水和剤	3		1000倍	150～300%/10a	発病初期	散布	7回以内
	カネフロアール	イピブチン水和剤	7	劇	4000～8000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	3回以内
	コナフロアール	水和硫黄剤	"UN(*)		800倍	100～300%/10a		散布	-
	サアロール乳剤	トリネリン乳剤	3		1000～1500倍	100～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
	ジマンダ イセクフロアール	マンゼブ水和剤	"UN(*)		500～800倍	150～300%/10a	-	散布	8回以内
	ストロビフルアール	クレタキシメチル水和剤	11		2000～3000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	3回以内
	チルト乳剤25	プロピコナゾール乳剤	3		3000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	3回以内
	トリアミン水和剤	トリアルミン水和剤	3		1000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
	トリアミン乳剤	トリアルミン乳剤	3		1000倍	100～300%/10a	-	散布	5回以内
	バシタック水和剤75	メブニル水和剤	7		500～1000倍	100～300%/10a	発病初期	散布	5回以内
	ビリカット乳剤	ジフルメトリル乳剤	39		1000倍	0.2～0.3%/㎡	発病初期	散布	6回以内
	マネージ乳剤	イミペクチン剤	3		500～1000倍	0.2～0.3%/㎡	発病初期	散布	6回以内
テリル乳剤	ミクロブチル乳剤	3		3000倍	200～300%/10a	発病初期	散布	5回以内	
立枯病	カロルビクリン	カロルビクリンくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～5mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	カロルビクリン錠剤	カロルビクリンくん蒸剤	8B	劇	1㎡当り6錠 1穴当り1錠			土壌くん蒸<圃場>「1㎡当り6錠処理」地表面に所定量を散布処理する。 土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
	ドロクロール	カロルビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3～6mL<圃場>1穴当り 2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
炭疽病	エムダ イファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
灰色かび病	エムダ イファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
半身萎凋病	カロルビクリン錠剤	カロルビクリンくん蒸剤	8B	劇	1穴当り1錠			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>「1穴当り1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
べと病	エムダ イファア水和剤	マンネブ水和剤	M3		400～650倍	100～300%/10a	発病初期	散布	8回以内
アミミカ類	アミミカ乳剤	イソキサチン安息香酸塩乳剤	6		1000～2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
	スビノエス顆粒水和剤	スビノサイド水和剤	5		5000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内
	トリチオ乳剤	プロチオス乳剤	1B		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
	バチ乳剤	トルフェンビラト乳剤	"21A(*)	劇	1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	4回以内
	アインセーブフロアール	フロトリキ水和剤	34	劇	2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内
	モスラン粒剤	アセチルリド粒剤	4A		1g/株		生育初期	株元散布	1回

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
アブラムシ類	アデント水和剤	アクリトリン水和剤	3A		1000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
	クワ50DF	アロニド水和剤	29		5000～10000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	6回以内
	リオン水和剤40	アミカルブ水和剤	1A	劇	1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
	ミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000～2000倍	100～300%/10a	-	散布	6回以内
材カノコ	アキ乳剤	レピメクシン乳剤	6		1000～2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	6回以内
	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		2500～5000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内
	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	28		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	4回以内
カビ類幼虫	D-D	D-D剤	8A	劇	15～20%/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	アロン	D-D剤	8A	劇	15～20%/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
センチュウ類	カビビクリン錠剤	カビビクリンくん蒸剤	8B	劇	1穴当り1錠			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴当り1錠処理する。<圃場>[1穴当り1錠 回以内]処理]30×30cm毎に1錠処理する。	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)
センチュウ類(ハレセンチュウを除く)	カスタード 微粒剤	ダゾメト粉粒剤	*8F(1*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混合する。	1回
	バスマイト 微粒剤	ダゾメト粉粒剤	*8F(1*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混合する。	1回
ダレセンチュウ	D-D	D-D剤	8A	劇	15～40%/10a(1穴当たり1.5～4mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	アロン	D-D剤	8A	劇	15～40%/10a(1穴当たり1.5～4mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ネオトリノース粒剤	ネオアピート粒剤	1B		20～25kg/10a		定植前	全面土壌混和	1回
コブセンチュウ	D-D	D-D剤	8A	劇	15～20%/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	アロン	D-D剤	8A	劇	15～20%/10a(1穴当たり1.5～2mL)		作付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
ハダニ類	リオン水和剤40	アミカルブ水和剤	1A	劇	1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内
ハダニ類	コファアロアブル	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	2回以内
	スターマイトアロアブル	シエリブフェン水和剤	25A		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	1回
	テラスター水和剤	ピフェントリリン水和剤	3A		1000倍	150～300%/10a	-	散布	3回以内
	ビラニカEW	テブフェンピラト乳剤	*21A(1*)	劇	1000～2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	1回

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
ハダクシムシ類	アクトリン顆粒水溶液	ジノテフラン水溶液	4A		1000~2000倍	1ℓ/m ²	発生初期	灌注	5回以内
	スタークル顆粒水溶液	ジノテフラン水溶液	4A		1000~2000倍	1ℓ/m ²	発生初期	灌注	5回以内
	スピノース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		5000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	散布	2回以内
マメハダクシムシ	ネトラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	散布	5回以内
	カスケード乳剤	フルフェノキサロン乳剤	15		2000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	散布	3回以内
	ジェイエス粒剤	アセフェート粒剤	1B		6~9kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内
ミカンキロアザミヤガ	アデント水和剤	アクリリトリン水和剤	3A		1000倍	150~300ℓ/10a	発生初期	散布	5回以内
	オンコル粒剤5	ベンゾフルカゾール粒剤	1A		9kg/10a		生育期	株元散布	3回以内
	カスケード乳剤	フルフェノキサロン乳剤	15		2000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	散布	3回以内
	ベストガード粒剤	ニテンピラム粒剤	4A		2g/株		発生初期	生育期株元散布	4回以内
ミカンキロアザミヤガ	オンコル粒剤5	ベンゾフルカゾール粒剤	1A		6~9kg/10a		定植時	植溝土壌混和又は株元散布	1回
					9kg/10a		生育期	植溝土壌混和又は株元散布	3回以内
	コフワアザミヤガ	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	150~300ℓ/10a	発生初期	散布	2回以内